

プレゼンテーション法 (2単位)

担当者氏名 林 隆久・吉川博文・新村洋一・河野友宏・矢嶋俊介・喜田 聡・千葉櫻 拓・坂田洋一・川崎信治・小川英彦・尾畑やよい・太治輝昭・渡辺 智

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

学会等で口頭もしくはポスターによる研究発表を筆頭筆者として行うことを最終目的とした科目。要旨作成と投稿の指導から始まり、発表内容の指導、質疑応答練習をゼミ形式で行う。前後期開講とし、前・後期どちらか一方を履修できるようにする。学会等において自分の研究内容を的確かつ分かり易く発表することは、研究者に必須の能力であるばかりでなく、中高生を含む一般社会に向けた情報発信にも重要であり、教員を目指す学生にも求められる能力である。そこで、本講義では、学会等における専門家集団と準専門家である科学者集団、また非専門家からなる一般社会に向けた、相手に応じた説明の仕方も教育する。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

細胞分子機能学 環境生物機能科学 動物生命科学 分子生物学
遺伝学 遺伝子工学

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	学会発表の検討	教員と相談して、各人が有する実験結果等を検討	・データ整理
2	学会の選定	発表する学会を選定・決定	・関連学会大会の情報取得
3	学会要旨作成指導 1	学会の基準に従った要旨の作成を指示	・要旨に関する規定を知る
4	学会要旨作成指導 2	提出された要旨の添削と返却	・教員に要旨提出
5	学会要旨作成指導 3	再提出された要旨の添削と返却	・要旨の改訂版を提出登録
6	学会参加手続き	要旨の提出版の作成と学会参加手続きの指導	・手続き・要旨提出
7	研究経過報告会 1	研究経過および実験結果の報告と課題の指示	・実験経過報告資料作成
8	研究経過報告会 2	研究経過および実験結果の報告と課題の指示	・実験経過報告資料作成
9	研究経過報告会 3	研究経過および実験結果の報告と課題の指示	・実験経過報告資料作成
10	研究経過報告会 4	研究経過および実験結果の報告と課題の指示	・実験経過報告資料作成
11	学会発表練習会 1	発表練習とプレゼン方法全般のレクチャー	・実際の発表形式に従った
12	学会発表練習会 2	効果的なデータ提示方法の検討	プレゼンファイルの作成
13	学会発表練習会 3	学会の規定に従った最終発表練習会	と、発表原稿の作成
14	学会発表	学会発表	・発表の際に出た質問および
15	学会発表を終えて	学会発表の際に受けた質問等の検討など、発表後の報告会を行い、次回発表への改善につなげる。	回答内容を記録して、発表後報告会で検討を行う。

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

特になし

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

PowerPointによる理系学生・研究者のためのビジュアルデザイン入門／田中佐代子／講談社 (2013)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

出席回数および質疑討論の回数により評価。学会発表をしたものだけが評価対象となる。

◆オフィスアワー

それぞれ所属研究室の教員が担当となるので、各教員の指示に従う。

◆その他受講上の注意事項

本講義を履修する際には研究指導教員と事前に相談すること。